

令和3年11月11日
総合政策局環境政策課
海事局海洋・環境政策課
港湾局産業港湾課
航空局航空戦略室

国際海運・国際航空分野における気候変動対策について 我が国の取組みを世界に発信

～COP26「運輸の日」におけるイベントに齊藤大臣がビデオメッセージで参加～

令和3年11月10日、齊藤大臣は、COP26「運輸の日」における議長国（英国）主催のイベントにおいて発表された、国際海運分野の「クライドバンク宣言」及び国際航空分野の「国際航空気候野心宣言」について、ビデオメッセージにより我が国の取組みを発信しました。

我が国は、両宣言への参画を通じて、国際海運及び国際航空分野のGHG（温室効果ガス）排出削減に向けた取組みをさらに加速させるとともに、IMO（国際海事機関）及びICAO（国際民間航空機関）における国際的な議論をリードし、気候変動対策に積極的に取り組んでまいります。

● COP26「運輸の日」における各イベントについて

場所：英国（グラスゴー）

日時：2021年11月10日（水）

概要：COP26議長国である英国主催により、国際海運、国際航空分野の脱炭素化に係るイベントを開催。

● 国際海運、国際航空分野に係る宣言概要

各イベントにおいて署名された国際海運分野、国際航空分野に係る宣言の主な内容は以下の通りです。

○ 国際海運分野：クライドバンク宣言

- ・ 国際海運からのGHG排出削減のため、GHGを排出しないゼロエミッション船が運航される「グリーン海運回廊」の開設を目指すもの。
- ・ 本宣言には、我が国を始め、計19か国が署名。

署名国：日本、英国、オーストラリア、ベルギー、カナダ、チリ、コスタリカ、デンマーク、フィジー、フィンランド、フランス、ドイツ、アイルランド、マーシャル諸島、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、スウェーデン、米国

○ 国際航空分野：国際航空気候野心宣言

- ・ 署名国が、パリ協定の1.5°C目標と一致し、2050年ネットゼロCO2排出に向けた業界の取組みを考慮して、ICAOによる野心的な長期目標の採択を支援するもの。
- ・ 我が国を始め、計18国が署名
署名国：日本、英国、ブルキナファソ、カナダ、コスタリカ、フィンランド、フランス、アイルランド、ケニア、モルジブ、モロッコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、韓国、スペイン、トルコ、米国

● 斉藤鉄夫国土交通大臣からのビデオメッセージ

各イベントでは、斉藤鉄夫国土交通大臣から、国際海運、国際航空それぞれについて、以下の内容をビデオメッセージにて発信いたしました。

○ 国際海運分野

- ・ 10月26日に、国土交通省が国際海運における2050年カーボンニュートラルを目指すことを発表
- ・ 国際海運の2050年カーボンニュートラルを世界共通目標とするため、英国等とともにIMOに対して共同で提案
- ・ 2050年カーボンニュートラル達成のため、水素燃料船やアンモニア燃料船の実現に向けた350億円規模の技術開発・運航実証プロジェクト（グリーンイノベーション基金のうちの「次世代船舶の開発」プロジェクト）を開始

○ 国際航空分野

- ・ 国際航空は国境を越えたグローバルな輸送モードであるため、国際協調が重要であること
- ・ 来年のICAO総会に向けては、我が国が提案した長期目標策定のための検討グループが設置され、積極的に議論が進められていること



我が国の取組みを発信する斉藤大臣
(国際海運分野)



我が国の取組みを発信する斉藤大臣
(国際航空分野)

【お問い合わせ先】

(COP26 全般、運輸の日について)

国土交通省総合政策局環境政策課 大井、森島 (内線 24401・24412)

TEL: 03-5253-8111 (代表) 03-5253-8263 (直通)

(クライドバンク宣言について)

国土交通省海事局海洋・環境政策課 中川・上田 (内線 43921・43923)

03-5253-8118 (直通)

国土交通省港湾局産業港湾課 佐々木・金丸・大谷 (内線 46461・46462・46466)

03-5253-8679 (直通)

(国際航空気候野心宣言について)

国土交通省航空局航空戦略室 寺島・徳永 (内線 49402・48173) 03-5253-8722 (直通)